

幼児教育方向性示す 推進プラン案を公表

岐阜市教委

岐阜市教委は十二日、二〇二〇年度から十年間の幼児教育の方向性を示す「市幼児教育推進プラン」案を公表した。同市司町のぎふメディアアコスモスであった市総合教育会議で示した。

同案は、幼稚園や保育園、認定こども園だけでなく、学校、家庭、地域を含む「オール岐阜」の体制で幼児教育を進めると規定。幼児教育と小学校教育の連携強化、家庭教育の支援などを目標に掲げた。プランは三月に策定、公表する。会議には柴橋正直市長や早川三根夫教育長、教育委

員らが出席。プラン案をまとめた有識者委の委員長で愛知教育大の加納誠司教授は「非認知能力の育成が不可欠」と指摘し、幼児期に自己肯定感や主体性、協調性などの目に見えにくい力をはぐくむことが重要だと説いた。

(杉浦正至)